

道路整備評価制度について

篠田 徳壽 議員

質問 道路特定財源が議論されているが、事業採択に関する優先順位をどのように決定しているのか。

答弁 地域の実情、実態等を考慮し、生活利便性の向上や安全性の確保、また、緊急性や必要性を勘案し決定を行っています。

質問 限られた予算で最大

答弁 事業採択、事業実施に当たっては、様々な観点から検討されなければならぬと思いますが、道路事

質問 「行政サービス度」

答弁 用地の取得が伴うものについては、要望時に関係者の同意書を添えていたくことが必須条件であると考えています。

市民サービスについて

の効果を上げるには「道路整備の見える化」が必要です。共通の評価基準に基づいて公平かつ公正に整備するためには、事業評価システムの導入の考えは。

質問 「行政サービス度」

答弁 定住人口確保に欠かせない。厳しい財政事情等を勘案しながら、総合計画の各施策の着実な推進を図りたい。

業評価システムは有効な手段の一つとして、今後、導入について研究します。

質問 道路整備には地権者の同意が欠かせません。同意書を含め、地域の協力体制が重要だが、今後の取り組みについての考えは。

で渋川市のランキングは。前に行つた行政サービス度調査では、全国の764市区のうち65位でした。

質問 事業評価と見直して財源を確保し、市民サービスを向上することが定住の拡大による税収確保につながる。考え方と対応は。



平成22年完成予定の（仮称）辰巳町有馬線

日本の農業を守り、 食の安全・安心を保障するために

加藤 幸子 議員

質問 渋川市の農業と食料自給率の向上を目指し、価格保証・所得補償制度を国に求めると共に、農業の発展と食の安全を守る施策は。

答弁 国へ支援措置等を望すると共に、地産地消など生産者の顔が見える生産・供給制度を推進します。

質問 学校給食に地場産の

食材を取り入れ、学校給食調理場は自校方式で地場産の食育を進めてほしい。

答弁 地場産物の活用を進め、食育の推進を図りたい。

質問 國へ支援措置等を要聴いて検討していきたい。

答弁 定年後の新規就農者に対する支援制度を。

質問 農業委員会・県農業

指導センター等と連携し、就農者が安心して就農できるよう支援していきます。

質問 渋川総合病院の将来構想は。

答弁 救急、災害、感染症、地域医療連携を柱に、病院改革プランを策定し、市民病院として充実を図ります。

質問 救急体制の充実と救急患者の受け入れ率は。

答弁 救急患者の約55%が市内の医療機関に搬送され、その4分の1は渋川総合病

質問 市民の病院として愛されるような広報活動を。

答弁 病院広報紙ファイトの発行をはじめ、企業訪問や病院見学など実施しました。今後も拡充を図ります。

質問 医師確保のために、

医師年収の検討と地域医療連携協議会に参加をするか。

質問 給与の改善について

は他の病院と比較検討を行います。県との連携はより一層の強化を図ります。



一般質問

市民の生命を守る救急車

市内に搬送され、

その4分の1は渋川総合病